

公表:令和 5年 2月 6日

事業所名 児童発達支援事業所きりんくらぶ

保護者等数(児童数) 20

回収数 18

割合 90 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				・部屋が広く清潔。 ・快適に活動できている。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				・利用人数に対して十分。 ・しっかり個々を見てくれる。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				・本人にとってわかりやすい指示がされている。生活空間も整理整頓されている。集中できている。 ・活動の様子が写真などで伝達されてわかりやすい。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				・トイレにすぐに行ける配置になっている。 ・子供の高さに合わせた空間になっている。	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				・ニーズを聞き、作ってもらっている。 ・苦手や対応がわかる。 ・その時に応じた目標が立てられている。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				・大きな目標とともに具体的な目標も設定されている。 ・苦手をよく見抜いてくれ、それに沿った支援目標がわかりやすい。アドバイスももらえ、単に預けるだけでなく、家庭を振り返る機会になっている。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				・個々にあった支援がされている。 ・いつも適切な支援がされている。	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	94%	6%			・成長や目標に合わせて活動が変更されている。 ・同じ活動でどのように成長するかも大事なので少しは固定化されてよい。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	11%		39%	・今の時点ではそのような活動に参加していないからわからない。 ・並行通園の子供たちと一緒に活動している。	並行通園の利用者が多いため、現段階では交流の機会を計画していません。
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				・わからないことがあると丁寧に説明してくれる。 ・入所するときや面談の時に説明してもらっている。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	100%				・個々に合わせてお互い共通理解ができている。 ・面談の時に説明してもらっている。	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	83%	6%		11%	・アドバイスがわかりやすい。 ・適切な対応の仕方を教えてほしい。	今年度は実施していないが、今後は取り入れていきたい。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができていますか	100%				・面談や送迎時に確認できている。 ・連絡票でお互い理解が得られている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				・欲を言えばもっと面談の回数があるとよい。早く方向修正ができる。 ・いつも相談聞いていただいている。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22%	11%	22%	45%	・ほかの保護者の方と交流がない。悩みが共有できたらと思う。 ・コロナ禍で難しいと思う。 ・親子通園の設定などしてもらっている。 ・無理に行わなくていいと思う。	こどもの年齢や通園施設が多岐に渡っていて難しい。親子参加を実施しているのでその後に設定していきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	94%			6%	・困ったときすぐに話を聞いてくれ、その後の対応も早く助かっている。 ・相談しやすい環境になっている。親身になってくれ、心強い。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				・手紙や送迎時のお話で分かりやすく伝達してもらっている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	89%			11%	・定期的開催される子ども食堂やイベント等のチラシをもらっている。 ・写真や手紙などで発信してもらっている。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				・しっかり管理されている。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	94%	6%				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33%	6%		61%	・避難訓練をやっているのかわからない。知らない。 ・訓練はしたと聞いているが一緒に参加してない。 ・不明だが大丈夫だと思う。	計画時に実施して、その様子を毎日の連絡表に印刷して伝えている。来年度はさらに避難場所の地図なども掲載して伝えたい。年間の避難計画を4月に配布予定。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				・帰ってから生き生きしている。活動や遊びなどを話してくれる。 ・きりんくらぶと言って楽しそうにしている。 ・自分でバスに向かうほど楽しみにしている様子。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%				・言葉や食事など、できることが増え利用してよかった。 ・成長が色々あるので満足している。 ・親身になってくれる。対応も早く、感謝している。 ・家ではできない支援を受け成長を感じられありがたい。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。